

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	夜間の災害を想定した避難訓練も計画されたい。	夜間の災害を想定した訓練を計画する。	①夜間は昼間の状況と条件が違っていることを考える勉強会を入所者とともに行う。②夜間の連絡の取り方の訓練を行う。③総合的に消防署の協力も得て夜間の災害訓練につなげて行く。	6 か月
2	33	職員間で不安のないよう重度化や終末期に向けた対応や看とりについて、段階的に家族への説明を行い、家族の協力や了解を得て、対応マニュアルを検討されたい。	「看とり」についての理解を深める。	①「看とり」のためにできること・できないこと・必要なことを職員全員で学習する。②学習会などに参加する。③ホームとしての方針をはっきりさせる。④契約時の家族への説明も深めていく。	12 か月
3	45	入浴介助時の職員の腰痛や利用者の不安な姿勢からくる危険のリスクを少なくし、楽しみが一段と増すような浴槽や浴室の改造・工夫が期待される。	入所者の安全・職員の安全に注意して入浴介助業務に当たる。	浴室の改造については代表に伝えているが、早急には実現できないので、毎日の入浴介助業務に当たる中で、安全入浴のためにできることがまだあれば改善していく。	随時 か月
4					か月
5					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。